

地方自治体の リスクマネジメントの 新たな視点 ～不正行為発生メカニズムを踏まえて～

成果報告会

日 時

令和7年3月19日（水）
14：00～17：00（受付13：30～）

場 所

おおさか市町村職員研修研究センター
（マッセ O S A K A） 大ホール
（大阪市中央区大手前3-1-43 大阪府新別館南館5階）

申込期日

令和7年3月12日（水）
※所属団体の研修担当課を通じて、お申込みください。

対 象

- ・府内市町村職員
（政令市を除く）
- ・一部事務組合職員

定 員

60名

基 調 講 演

『組織で不正が起こるワケ』

立命館大学 経営学部 准教授 中原 翔 氏

1987年、鳥取県生まれ。2016年、神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士（経営学）。同年より大阪産業大学経営学部専任講師を経て、19年より同学部准教授。22年から23年まで学長補佐を担当。主な著書は『組織不正はいつも正しい：ソーシャル・アバランチを防ぐには』（光文社）、『社会問題化する組織不祥事：構築主義と調査可能性の行方』（中央経済グループパブリッシング）、『経営管理論：講義草稿』（千倉書房）など。受賞歴には日本情報経営学会学会賞（論文奨励賞「涌田宏昭賞」）などがある。



開催概要

地方公務員による不正行為や不祥事は、ニュースや新聞を見れば毎日のようにそれらに関する記事が目飛び込んできます。また、一度でも不正行為や不祥事が発生すると地域住民からの信頼を失い、さらには、行政サービス全体に影響を及ぼすとともに、自治体運営の根幹にも関わる大きな問題となります。

本研究会では、奈良県立大学地域創造学部 准教授 米岡 秀真 氏の指導のもと、不正行為発生のメカニズムを踏まえつつ、新たな視点からのリスクマネジメント策について、先進的取組事例へのインタビューや現地視察等を行いながら、研究を進めてきました。

報告会では、先進事例のヒアリングやアンケート調査等を通じての考察を行うとともに、本研究の分析結果等を報告いたします。

また、基調講演として立命館大学経営学部 准教授 中原 翔 氏をお招きし、「組織で不正が起こるワケ」と題して、企業で起きた不祥事を中心にお話しいただき、その中から地方自治体と共通する点や新たな気づきを発見し、各地方自治体内でのリスクマネジメントの手法、特に不正行為、不祥事への対策の一助となる機会といたします。

当日スケジュール

- 14:00 ● 指導助言者よりあいさつ
奈良県立大学 地域創造学部
准教授 米岡 秀真 氏
- 14:10 ● 第1部 基調講演
「組織で不正が起こるワケ」
立命館大学 経営学部
准教授 中原 翔 氏
- 15:15 ● 第2部 成果報告会
研究員より研究成果の報告を行います
- 16:10 ● 第3部 パネルディスカッション
ご登壇者と研究員でパネル
ディスカッションを行います
- 17:00 ● 終了

研究員

諏訪 高宏
茨木市 消防本部 総務課

伊藤 諒
八尾市 環境部 環境施設課

山尾 亮輔
高石市
教育部 こども未来室 こども家庭課

北川 和義
泉佐野市 市長公室 内部統制室

末田 勇貴
阪南市 市民部 生活環境課

指導助言者

米岡 秀真 氏
奈良県立大学 地域創造学部 准教授